

(様式1)

令和4年度 学校が運営協議会自己評価表

浜松市立（萩丘小学校）運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長から学校運営の基本方針についての丁寧な説明を受けて、現状と目指す子供像の姿について認識を一致させることができた。また、かかわりの中で自分を磨く子の育成の説明から「かかわる力」に重視することを理解した。
- 4つの付けたい力が付いているのか。子供、教員の評価を把握し、熟議されていることを感じた。そして、何が、今の子供たちにとって大切で何を育てて伸ばしていきたいのかという話し合いができた。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 学校経営の基本方針に基づいた先生方からのスタサポや外部講師の依頼についても先生方とコミュニケーションを取り、依頼内容の把握に努め、良かった点、改善点、報告事項など学校運営協議会でも熟議を進めることができた。
- 「CS萩っこタイム」を制作放送していると聞き、熟議された結果が実現していると感じた。
- 今年の現状を踏まえ、学校運営の基本方針に基づく支援活動を考えることができた。
- 笑顔を咲かせようプロジェクト、セーフティキッズプロジェクト、CS活動のスタサポやふれあいスクールの美術展、外部講師による授業などが、先生方の授業づくり八箇条と共に経営構想に潤いを与えていると思う。
- 学校側より、基本方針に則し、どんな活動をするのか話を聞いた。また、CSの活動の企画としてもどんなポイントで活動したらよいか方向が見えた。
- コロナ禍での運動会や学習発表会など学校訪問ができなかった。今後、少しずつでも訪問していけるとより熟議が進む。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 1学期のアンケート結果（児童、保護者、職員）よりCSがあるから自分たちが成長していると児童が考えていることが評価に表れていてよかった。来年度もかかわる力を育むべく学校運営方針に基づく支援活動を実施していこうと考えている。そして、活動を積み上げてきた実践やつながった縁を大切にしていく。
- 萩っこサポーターズのマンパワーと学校の協力を得てCS活動が行えていると思う。CS活動内容を継続しながら、活動の経験値が活かせるようにしたい。
- 来年度の方針が、的確に示されていて大変分かりやすい内容であった。「人とのかかわり」が今後大事なテーマだと思う。学校がどんなに頑張っても伝わらないことが多いようだ。どんなに放送しても受信するテレビがないと伝わらないので、保護者の受信の意識を高めるようにしていきたい。
- スタサポや外部講師による関連授業も回数が増え、CSによるふれあいスクールの一部開催することができた。来年度の計画も進んでいるのでさらに安心・安全に配慮しつつ「地域とともにある学校」が子供たちの心の支えになるよう活動を増やしていけたらと思う。
- コロナ感染症対策を適切に講じつつ、地域住民も参加を増やして地域との連携を図るとともにコロナ対応の変子による運営の在り方をさらに考えていきたい。

＜評価項目4～＞何でも相談カードについて熟議が進められたか。

- 「何でも相談カード」の説明を聞き、実際に児童への丁寧な対応がなされていることが分かり、良い手立ての一つであると思う。ささいなことでも気に留めて顔を合わせて定期的にあるいは、その都度、個々に対応することで児童と教員の信頼関係も築かれると感じた。また、「助けて」「困ってます」とサインを発信できるスキルも子供たちには必要なことである。
- いじめに関する部分は、少し不安が残った。今後、いじめに相当する事案が起こったときの関わりについて考えていきたい。